

◆ 本学の沿革と年譜

沿革

本学の創立は、遠く東洋伝導の先駆者聖フランシスコ・ザビエルの宿願に基づいている。ザビエルはわが国に滞在中（1549～1551年）西欧の最善の文化財を供給しうる高度の教育機関としての大学を、わが国の首都に設立する計画をもっていたが、滞在期間が短かったので、実現には至らなかった。

それから約360年たった1906年、ローマ教皇ピオ10世がザビエルの属したイエズス会に、大学設立の事業を委託したことによって、その念願が実現の緒についた。

1908年、ドイツ人ヨゼフ・ダールマン師、フランス人アンリ・ブシェー師、イギリス人ジェームズ・ロックリフ師が、この理想をもって、わが国に新しい大学を設立するため来朝し、その準備にかかった。1910年に来朝したドイツ人ヘルマン・ホフマン師は、1911年財団法人上智学院を設立し、ついで1913年上智大学を現在地に設置して、初代学長となった。

以来本学はキリスト教の世界観に基づき、最高の教育並びに研究機関としての大学の使命を果たすとともに、当初より多数の外国人教授を擁し、東西文化交流のかけ橋として、わが国の大学の中でも独特な地位を占めている。

年譜

- | | |
|--------------|---|
| 1911年（明治44年） | 財団法人上智学院設立。 |
| 1913年（大正 2年） | 専門学校令により上智大学（哲学科、独逸文学科、商科）開設。 |
| 1928年（昭和 3年） | 大学令による上智大学（文学部－哲学科、文学科、商業部－商学科）開設。 |
| 1932年（昭和 7年） | 専門部（経済科、法科、商科、新聞学科）開設。 |
| 1948年（昭和23年） | 新制大学文学部（哲学科、史学科、英文学科、独逸文学科、新聞学科）、経済学部（経済学科、商学科）を開設。 |
| 1951年（昭和26年） | 私立学校法による学校法人上智学院設立。新制大学院神学研究科（神学専攻）、哲学研究科（哲学専攻）、西洋文化研究科（西洋文化専攻）、経済学研究科（経済学専攻）の修士課程を開設。 |
| 1952年（昭和27年） | 文学部に教育学科増設。 |
| 1955年（昭和30年） | 文学部に外国語学科（英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語各専攻）増設。
大学院に神学研究科（組織神学専攻）、哲学研究科（哲学専攻）、西洋文化研究科（英米文学専攻及びドイツ文学専攻）、経済学研究科（経済制度・組織専攻）の博士課程を開設。 |
| 1957年（昭和32年） | 法学部（法律学科）開設。文学部外国語学科にロシア語専攻増設。 |
| 1958年（昭和33年） | 神学部（神学科）開設。外国語学部（英語学科、ドイツ語学科、フランス語学科、スペイン語学科、ロシア語学科）開設、したがって文学部外国語学科は廃止。 |
| 1959年（昭和34年） | 文学部に国文学科増設。 |
| 1962年（昭和37年） | 理工学部（機械工学科、電気・電子工学科、物理学科、化学科）開設。 |
| 1964年（昭和39年） | 外国語学部にもポルトガル語学科増設。 |
| 1965年（昭和40年） | 理工学部に数学科増設。化学科に化学専攻、応用化学専攻設置。 |
| 1966年（昭和41年） | 文学部に社会学科、フランス文学科増設。
大学院に文学研究科（教育学専攻）、法学研究科（法律学専攻）、理工学研究科（機械工学専攻、電気・電子工学専攻、応用化学専攻、化学専攻及び物理学専攻）の修士課程を開設。
大学院西洋文化研究科（西洋文化専攻）の修士課程を文学研究科（史学専攻、英米文学専攻及びドイツ文学専攻）の修士課程に改組。
大学院西洋文化研究科（英米文学専攻及びドイツ文学専攻）の博士課程を文学研究科（英米文学専攻及びドイツ文学専攻）の博士課程に改組。 |
| 1968年（昭和43年） | 大学院文学研究科に教育学専攻及び日本史学専攻の博士課程を増設。
大学院文学研究科に国文学専攻及びフランス文学専攻の修士課程を増設。
大学院に法学研究科（法律学専攻）及び理工学研究科（機械工学専攻、電気・電子工学専攻、応用化学専攻、化学専攻及び物理学専攻）の博士課程を開設。
経済学部商学科を経済学部経営学科に名称変更。 |
| 1969年（昭和44年） | 大学院理工学研究科に数学専攻の修士課程を増設。 |
| 1970年（昭和45年） | 大学院文学研究科に国文学専攻の博士課程を増設。大学院外国語学研究科（言語学専攻）の修士課程を開設。 |

- 1971年（昭和46年） 大学院文学研究科にフランス文学専攻及び史学専攻（日本史学改組）の博士課程を増設。大学院文学研究科に新聞学専攻の修士課程を、外国語学研究科に国際関係論専攻の修士課程を増設。
- 1972年（昭和47年） 大学院文学研究科に社会学専攻の修士課程を増設。大学院理工学研究科に数学専攻の博士課程を増設。
- 1973年（昭和48年） 大学院外国語学研究科に言語学専攻及び国際関係論専攻の博士課程を開設。
- 1974年（昭和49年） 大学院文学研究科に新聞学専攻及び社会学専攻の博士課程を増設。
- 1975年（昭和50年） 外国語学部日本語・日本文化学科増設。
- 1976年（昭和51年） 文学部に心理学科、社会福祉学科を増設、したがって教育学科心理学専攻、社会学科社会福祉学専攻は廃止。
大学院学則を改正し、博士前期、後期課程に変更。
- 1977年（昭和52年） 外国語学部日本語・日本文化学科を外国語学部比較文化学科に名称変更。
- 1978年（昭和53年） 大学院理工学研究科に生物科学専攻の博士前期課程を増設。
- 1979年（昭和54年） 大学院外国語学研究科に比較文化専攻の博士前期課程を増設。
- 1980年（昭和55年） 法学部に国際関係法学科を増設。
- 1981年（昭和56年） 大学院理工学研究科に生物科学専攻の博士後期課程を増設。
- 1987年（昭和62年） 比較文化学部（比較文化学科、日本語・日本文化学科）開設。
- 1992年（平成4年） 大学院文学研究科に心理学専攻の博士前期課程を増設。
- 1993年（平成5年） 外国語学部比較文化学科を廃止。
- 1994年（平成6年） 大学院文学研究科に心理学専攻の博士後期課程を増設。
- 1997年（平成9年） 大学院外国語研究科に地域研究専攻の博士課程（前期・後期）を増設。
法学部に地球環境法学科を増設。
- 2001年（平成13年） 大学院文学研究科心理学専攻博士前期課程に臨床心理学コースを設置。
- 2004年（平成16年） 大学院法学研究科に法曹養成専攻（法科大学院）を増設。
- 2005年（平成17年） 文学部（教育学科、心理学科、社会学科、社会福祉学科）を総合人間科学部（教育学科、心理学科、社会学科、社会福祉学科）に改組。
大学院文学研究科（教育学専攻、心理学専攻及び社会学専攻）の博士課程（前期・後期）を総合人間科学研究科（教育学専攻、心理学専攻、社会学専攻及び社会福祉学専攻）の博士課程（前期・後期）に改組。
大学院に地球環境学研究科（地球環境学専攻）の博士課程（前期・後期）を開設。
- 2006年（平成18年） 比較文化学部（比較文化学科、日本語・日本文化学科）を国際教養学部（国際教養学科）に改組。
大学院外国語学研究科（国際関係論専攻及び地球研究専攻）の博士課程（前期・後期）をグローバル・スタディーズ研究科（国際関係論専攻及び地球研究専攻）の博士課程（前期・後期）に改組。
大学院外国語学研究科比較文化学専攻修士課程をグローバル・スタディーズ研究科グローバル社会専攻の博士前期課程に改組。
大学院グローバル・スタディーズ研究科にグローバル社会専攻の博士後期課程を増設。
- 2007年（平成19年） 大学院経済学研究科に経済学専攻の博士後期課程及び経営学専攻の博士課程（前期・後期）を増設。
大学院文学研究科教育学専攻及び社会学専攻の博士前期課程を廃止。
- 2008年（平成20年） 理工学部（機械工学科、電気・電子工学科、数学科、物理学科、化学科）を理工学部（物質生命理工学科、機能創造理工学科、情報理工学科）に改組。
大学院理工学研究科（機械工学専攻、電気・電子工学専攻、応用化学専攻、化学専攻、数学専攻、物理学専攻及び生物科学専攻）の博士課程（前期・後期）を理工学研究科（理工学専攻）の博士課程（前期・後期）に改組。
大学院文学研究科心理学専攻の博士前期課程を廃止。
大学院外国語学研究科国際関係論専攻の博士前期課程を廃止。
大学院外国語学研究科比較文化専攻を廃止。
大学院外国語学研究科地域研究専攻博士前期課程を廃止。
- 2009年（平成21年） 神学部神学科の収容定員増。
文学部教育学科及び社会学科を廃止。
大学院理工学研究科機械工学専攻、電気・電子工学専攻、物理学専攻、応用化学専攻及び化学専攻の博士前期課程を廃止。
- 2010年（平成22年） 文学部心理学科を廃止。
比較文化学部日本語・日本文化学科を廃止。

2011年（平成23年）

大学院理工学研究科数学専攻の博士前期課程を廃止。

総合人間科学部に看護学科を増設。

大学院総合人間科学研究科に看護学専攻修士課程を増設。

大学院文学研究科に文化交渉学専攻博士課程（前期・後期）を増設。